

上 伊藤若冲「葛城七郎将」(部分) 財団法人 平水洋画財団
下 葛飾北斎「富嶽三十六景 凱風快晴」(部分) 山口県立萩美術館・浦上記念館



浮世絵に見る風雅と風俗

開館10周年記念
雅 Ga
俗 Zoku

会期/2006.6.10(土) — 7.30(日)
前期/6月10日(土)~7月2日(日) 後期/7月4日(火)~7月30日(日)
会場/山口県立萩美術館・浦上記念館

◎開催時間/9:00~17:00(入館は16:30まで) ◎休館日/月曜日(ただし7月17日(月)は開館、翌18日(火)は休館。)
◎観覧料/一般1,000(800)円 学生800(600)円 *()内は前売りおよび20名以上の団体料金。70歳以上と18歳以下の方、高等学校、中等教育学校、盲学校、聾学校、養護学校に在学する生徒は無料。*前売り券はローソンチケット、山口県内主要プレイガイドで販売しています。 ◎主催/山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、YAB山口朝日放送
◎特別協賛/株式会社エフエム山口 ◎後援/萩市



富嶽三十六景 凱風快晴

雅俗

浮世絵に見る風雅と風俗

山口県立萩美術館・浦上記念館は、今年、開館10周年を迎えました。これを記念して、「雅／俗―浮世絵に見る風雅と風俗―」を開催いたします。

江戸文化のありかたを象徴的にあらわす言葉の一つに「雅と俗」があります。和歌の詠歌に相応しい「雅語」と、狂歌や俳諧に用いた日常語である「俗語」という言葉をはじめ、伝統的な正統文化と、時代の空気を直に反映する新しい流行文化との相対する関係を表す言葉として用いられてきました。今日の江戸文化研究において、「雅と俗」の関係を軸に分析する視線は、約300年間続いた江戸時代の文化が、庶民の文化という「重もの」ではなく、「雅の文化」と「俗の文化」による複雑な展開によって成立していることを明らかにしています。

浮世絵は、江戸時代の武家社会の身分制度では、「俗」にあたる

Ga/Zoku

る庶民文化であることに違いありません。しかしその誕生の背景には、新しい都市江戸に対する、伝統ある京都で育まれた文化がありました。また江戸中期には、高位の武家がつつた「雅」の文化との交流があり、またそこから技法や手法の発展を遂げ、「雅」の文化の担い手が、「俗」の大衆文化に遊ぶという状況に至りました。そして大衆文化が爛熟期を迎えた江戸後期には、「俗」の文化を代表する浮世絵が隆盛の時代を迎えました。このように浮世絵の歴史には、「雅と俗」の文化の豊かな交わりの諸相を見出すことができます。

本展覧会は、浮世絵の歴史を展観しながら、「雅と俗」をキーワードに、江戸の文化構造についても考える内容です。「雅と俗」という視点から浮世絵の歴史をみなおし、「雅と俗」が不即不離の関係であった江戸時代の文化全体へと思いを馳せていきたいと思えます。



→池大雅「見島湧真景図」絹本着色 宝暦・明和期 細見美術館



→鳥文斎栄之「桜下遊女の図」絹本着色 寛政後期 大田記念美術館



→鈴木春信「五色墨」長巻・中判錦絵 明和4、5年（1767、1768頃）山口県立萩美術館・浦上記念館



→『離帳本』伊勢物語』 慶長13年（1608）大東急記念文庫



→伊藤若冲「乗興池」木柙摺画巻（部分） 明和4年（1767）千葉市美術館



→葛飾北斎「富嶽三十六景」神奈川沖浪裏「横大判錦絵」 天保2、5年（1831、1834）山口県立萩美術館・浦上記念館

記念行事

「アンティーク着物でみやび／MIYABIな美術鑑賞」

6月10日（土）、11日（日）、7月1日（土）、2日（日）

アンティーク着物の着付け・記念撮影 ＊受付先着順・参加無料・要観覧券

＊6月10日（土）、11日（日）には、「城下町で着物めぐり」で使える「城下町 着物トク外バスポート」プレゼント

記念講演会 ※当館講義室にて開催。聴講無料。受付先着順80名。

1 演題「近世文化における雅と俗について（仮題）」

6月17日（土）13:30～15:00 講師：中野三敏氏（九州大学名誉教授）

2 演題「江戸画壇の浮世絵の位置はどう変っていったのか」

7月15日（土）13:30～15:00（兼・平成18年度美術講座） 講師：安村 敏信氏（板橋区立美術館館長）

ギャラリーツアー

毎週日曜日11:00～12:00

当館学芸員による作品解説



【交通のご案内】

JR東萩駅=タクシー7分/まあるバス20分/徒歩30分

JR新山口駅=防長交通「特急はぎ号」65分・中国JRバス

「特急はぎ号（山口-湯田温泉経由）」83分（萩バスセンター下車、徒歩15分）

萩石見空港（島根県益田市）=直行バス75分（萩バスセンター下車、徒歩15分）

山口宇部空港=萩近鉄タクシー「乗合タクシー」75分

（ただし利用前日までの要予約、電話 0838-22-0924）

中国自動車道=小部IC、美祿IC、各50分